

おもてなしのスキルを身につけて、パートから正社員へ
そして店長にステップアップできた(森川)



森川さん

森川さん 不安しかありませんでした(笑)。両親からは「大変やろう」と反対されましたが、「どの仕事も大変。ただ、人によって大変と感ずるところが違うだけ」と考え説得しました。入社直後から研修が始まり、生命保険の基本や商品知識・税務などについて一から学びました。その次はお客様対応についての研修、それが終わってからはじめてオフィスで勤務できるのです。

再就職に際して不安はありましたか？
松田 不安しかありませんでした(笑)。両親からは「大変やろう」と反対されましたが、「どの仕事も大変。ただ、人によって大変と感ずるところが違うだけ」と考え説得しました。入社直後から研修が始まり、生命保険の基本や商品知識・税務などについて一から学びました。その次はお客様対応についての研修、それが終わってからはじめてオフィスで勤務できるのです。

森川さん 職員のニーズに対応し、子育てしやすい職場環境を整えています。正職員のままで時短勤務できる仕組みを設けたり、子どもの看護や親の介護のための休暇制度はもちろん、参観日・保護者面談など2、3時間程度の休みで事足りるような用事に対応できるように、有給休暇を必要な

松田さん 結婚する前は介護職員として働いていました。介護職を目指した理由は入院していた祖父をケアしてあげることができればと思って選びました。結婚を機に退職したのですが、「夫の年金だけで大丈夫なのか？将来どうなるのだろうか」と、老後について考えるようになりました。そんな時、自分が加入している第一生命の担当者さんから、「一緒に働きませんか」と、お声がけいただいたのです。「保険の外交なんて絶対無理！」と

松田さん 結婚する前は介護職員として働いていました。介護職を目指した理由は入院していた祖父をケアしてあげることができればと思って選びました。結婚を機に退職したのですが、「夫の年金だけで大丈夫なのか？将来どうなるのだろうか」と、老後について考えるようになりました。そんな時、自分が加入している第一生命の担当者さんから、「一緒に働きませんか」と、お声がけいただいたのです。「保険の外交なんて絶対無理！」と

松田さん 結婚する前は介護職員として働いていました。介護職を目指した理由は入院していた祖父をケアしてあげることができればと思って選びました。結婚を機に退職したのですが、「夫の年金だけで大丈夫なのか？将来どうなるのだろうか」と、老後について考えるようになりました。そんな時、自分が加入している第一生命の担当者さんから、「一緒に働きませんか」と、お声がけいただいたのです。「保険の外交なんて絶対無理！」と

松田さん 結婚する前は介護職員として働いていました。介護職を目指した理由は入院していた祖父をケアしてあげることができればと思って選びました。結婚を機に退職したのですが、「夫の年金だけで大丈夫なのか？将来どうなるのだろうか」と、老後について考えるようになりました。そんな時、自分が加入している第一生命の担当者さんから、「一緒に働きませんか」と、お声がけいただいたのです。「保険の外交なんて絶対無理！」と

松田さん 結婚する前は介護職員として働いていました。介護職を目指した理由は入院していた祖父をケアしてあげることができればと思って選びました。結婚を機に退職したのですが、「夫の年金だけで大丈夫なのか？将来どうなるのだろうか」と、老後について考えるようになりました。そんな時、自分が加入している第一生命の担当者さんから、「一緒に働きませんか」と、お声がけいただいたのです。「保険の外交なんて絶対無理！」と

松田さん 結婚する前は介護職員として働いていました。介護職を目指した理由は入院していた祖父をケアしてあげることができればと思って選びました。結婚を機に退職したのですが、「夫の年金だけで大丈夫なのか？将来どうなるのだろうか」と、老後について考えるようになりました。そんな時、自分が加入している第一生命の担当者さんから、「一緒に働きませんか」と、お声がけいただいたのです。「保険の外交なんて絶対無理！」と

仕事を通して
子どもの成長を実感できた(松田)



松田さん

松田さん かつてトリマーとして働いていましたが、飼い主さんと交流を図る仕事ではあるのですが、あくまでも施術が中心で、天平庵のようにお客様の心に踏み込んだおもてなし

松田さん 結婚する前は介護職員として働いていました。介護職を目指した理由は入院していた祖父をケアしてあげることができればと思って選びました。結婚を機に退職したのですが、「夫の年金だけで大丈夫なのか？将来どうなるのだろうか」と、老後について考えるようになりました。そんな時、自分が加入している第一生命の担当者さんから、「一緒に働きませんか」と、お声がけいただいたのです。「保険の外交なんて絶対無理！」と

松田さん 結婚する前は介護職員として働いていました。介護職を目指した理由は入院していた祖父をケアしてあげることができればと思って選びました。結婚を機に退職したのですが、「夫の年金だけで大丈夫なのか？将来どうなるのだろうか」と、老後について考えるようになりました。そんな時、自分が加入している第一生命の担当者さんから、「一緒に働きませんか」と、お声がけいただいたのです。「保険の外交なんて絶対無理！」と

松田さん 結婚する前は介護職員として働いていました。介護職を目指した理由は入院していた祖父をケアしてあげることができればと思って選びました。結婚を機に退職したのですが、「夫の年金だけで大丈夫なのか？将来どうなるのだろうか」と、老後について考えるようになりました。そんな時、自分が加入している第一生命の担当者さんから、「一緒に働きませんか」と、お声がけいただいたのです。「保険の外交なんて絶対無理！」と

松田さん 結婚する前は介護職員として働いていました。介護職を目指した理由は入院していた祖父をケアしてあげることができればと思って選びました。結婚を機に退職したのですが、「夫の年金だけで大丈夫なのか？将来どうなるのだろうか」と、老後について考えるようになりました。そんな時、自分が加入している第一生命の担当者さんから、「一緒に働きませんか」と、お声がけいただいたのです。「保険の外交なんて絶対無理！」と

「職場」は再び輝ける
私だけの「フィールド」

仕事のプランク、家事や子育てへの影響...
さまざまな不安から、再就職に踏み出せない女性がいるかもしれません。一方で、県内には男女ともに働きやすく働きたいのある職場づくりを進める企業がたくさんあります。再就職を果たし、それぞれの「フィールド」でいきいきと働く女性も増えています。今号では、自分の活躍の場を見つけた女性社員と、よりよい職場づくりを目指す管理職に、それぞれの立場から再就職について語っていただきました。



管理職

佐藤薬品工業株式会社
総務部担当係長
坂口 真喜子さん(43歳)

短大卒業後、佐藤薬品工業へ就職。現在、総務部担当係長として、社会保険、採用関係の手続き業務を担当

管理職

社会福祉法人
明徳会
総合老人福祉施設
テnderヒル御所
総合施設長
山本 忠行さん(60歳)
特別養護老人ホームを中心とした福祉施設を運営。施設長として全体的な施設の管理を担当

女性社員

株式会社 天平庵
天理店 店長
森川 聡子さん(44歳)
入社10年5カ月
20代トリマーとして勤務した後、写真店に再就職。10年間勤務後、閉店のため退職
30代/株式会社天平庵へ再就職
40代/株式会社天平庵
天理店店長として勤務中

第一生命保険株式会社
奈良支社 檀原南営業オフィス
生涯設計デザイナー
松田 仁美さん(42歳)
入社8カ月
20歳/専門学校卒業後、介護福祉士として勤務。
結婚を機に退職し専業主婦へ
30代~/同級生のおを手伝う
42歳/加入している第一生命の担当者の
すすめで就職
生涯設計デザイナーとして勤務中
子ども2人(8歳、13歳)

女性社員